

AutoCheckMate.com

REV™ を利用し、自動車整備工場向け WEB ASP サービス用イメージデータの運用・保存管理

インダストリー 自動車修理工場向けシステム

THE CHALLENGE:

- ▶ 保存されている画像イメージを瞬時に参照可能にすること
- ▶ 10～14カ月分の大容量となるオンライン・データの確実な利用・保存
- ▶ コンピュータの専門家でなくても利用できる確実なシステム
- ▶ 狭いスペースに設置できるコンパクトさと丈夫なシステム

THE SOLUTION:

- ▶ IBM 社ワークステーション
- ▶ REV USB ドライブ
- ▶ デジタルカメラ
- ▶ 無線 LAN 機能付 PDA

THE BENEFITS:

- ▶ ある修理工場では、システム導入後 10 日間において画像データを提示することにより車両保険請求の審査に係る経費を 7,000 ドル相当コストセーブができました。
- ▶ 直感的で使いやすい操作で修理作業中でも速やかに運用できるシステムが構築できました。
- ▶ マニュアル操作を必要としないシームレスな一連の画像保存システムにより社員はカスタマーサービス業務に集中できます。
- ▶ 小型の REV ドライブは工場内で利用する可動式システムラックに搭載するのに最適でした。

AutoCheckMateは、昔ながらの工員の方による手作業で紙のフォームに修理点検前後の記録記載をしている自動車修理工場向けに、デジタル画像を用いた記録・保存する自動化されたシステムを提供しています。

AutoCheckMateのシステム(ACMシステム)は、修理すべき部分の確認と証拠の記録を数分で可能とし、また過去数か月分の修理部分の画像イメージをローカルでもWEB上でもリアルタイムで見ることができるようになります。

ACMシステムのローカル設備(ACMローカル設備)は、修理すべき部分を高解像度のデジタルカメラで撮影し写真イメージを無線LAN付きPDAでACMローカル設備に設置されたIBMのワークステーションに送ります。

そして、画像を確認後、AutoCheckMateが提供するWEB ASP サービス(AutoCheckMate.COM)へと送られいつでも簡単に写真イメージが確認できるようになります。

AutoCheckMateの共同設立者ケン・エスポジートによると、このシステムにより車両保険請求業務の負担軽減ができ、工場の稼働率を向上するのでより多くのお客様を受け入れられるようになると述べています。

「あるニュージャージー州北部にある修理工場では、保険請求業務のために5万5千ドルも費やしていました。リアルタイムで画像修理データにアクセスできるなら、こうした間接業務は削減できるし修理内容の適否をすばやく判断することができます。削減された時間で新規のお客様を受け入れられるため、売上げ向上も期待できます。」-ケン・エスポジート
さらに、修理受付業務時間を50%削減することができこれら新規お客様の受け入れに寄与しました。

ケン・エスポジートはシステムを設計する際、情報システム部ディレクターをしていた経験により、KODAK社のデジタルカメラ、DELL社の無線LAN付PDA、およびIBM社のワークステーションを最適なシステム構成ハードウェアとして選定しました。

また、一台の修理対象自動車あたりの必要とされるデータ容量は、8-10枚の高解像度デジタルイメージで合計25MB程度と見積りられましたので、高容量のストレージの選定も重要でした。



REV™

INNOVATION SPOTLIGHT

STORAGE SOLUTION CASE STUDY

AutoCheckMate.com

A Provider of Automated
Vehicle Inspection Systems.

REV 1 MILLION
DISKS SOLD

AutoCheckMate.com

AutoCheckMateは、米国ニュージャージー州に本社をおく自動車修理工場向けシステムとWEB ASPサービスを連携した業務フローを改善するソリューションを提供している企業です。ACMシステムは世界9カ国で特許を取得し大手自動車メーカーでも使用されています。

<http://www.autocheckmate.com/>





THE CHALLENGE:

AutoCheckMate は、写真イメージが ACM.COM 上のいわばセンターファイルだけでは、後々各修理工場がダウンロードする際、時間がかかりすぎることに直面しました。そこで、写真イメージを各修理工場に設置する ACM システムにも保存することが必要になりました。「私たちは、ACM ローカル設備に過去 10 ~ 14 カ月分の保存された写真イメージに瞬時にアクセスできかつ確実に保存できる、高速で大容量のバックアップ装置が必要と認識しました。」と エスポジートは述べています。

また、ACM ローカル設備のオプション品としては、簡単で丈夫なものでなければならぬことは明白でした。

「私たちは、コンピュータの専門家でもない工員の方々にマニュアルでのデータバックアップを要望することはできませんでしたので、自動実行するきわめて単純なバックアップソリューションを必要としていました。」と、エスポジートは述べています。

さらに、ACM ローカル設備は工場内で利用できるよう可動式のシステムラックに収納されているので、小型であることが必須条件でした。できれば、必要とされるデータの増大にスケールラブルに対応できることが望まれました。

エスポジートは最低 3 か月分のデータは常に保有していることが必要であろうと想定しました。

最後に、保存された写真データの利用はあたかもローカルのハードディスクのように特別な操作なしにすばやくアクセスできなければならないと考えました。

THE SOLUTION:

AutoCheckMate は、実効速度が遅く高価で壊れやすいテープベースのバックアップシステムは検討から除外しました。

次に DVD ドライブを考えましたが、1 枚あたり 4 ~ 9GB では枚数も多くなり記録媒体の管理が煩雑になるのでこれも対象外としました。外付けハードディスクも検討対象でしたが、一定期間後領域確保のためデータの全削除がインシヤライズを行わなければならないことに気がつきました。この作業を自動化するのは困難に思われました。

AutoCheckMate は、バックアップ・リストア用のソリューションとして iomega REV リムーバブルハードディスクを見つけました。

「なによりも、REV は十分な容量がありましてし、自動バックアップソフトが付属しているのも魅力的でした。」と エスポジートは述べています。彼が情報システム部長として働いていた時代に、iomega は信頼ある Jaz や Zip 製品のメーカーとして認識していたので、2005 年 3 月に最初の REV ドライブをテストのために購入しました。

「私たちは、最初のテスト用 REV ドライブで、「これしかない」と確信した。」と エスポジートは思い出しています。

THE BENEFITS:

AutoCheckMate は REV ドライブ導入直後に効用を確信しました。

「ある修理工場では、システム導入後 10 日間において画像データを提示することにより車両保険請求の審査に係る経費を 7,000 ドル相当のコストセーブができました。」と エスポジートは述べています。

「彼らはすぐに、容易に REV ドライブに保管している画像イメージにアクセスできましたし、システムは完全に予定通りに動作しました。」最初の REV ドライブのセットが完了した後、エスポジートと彼のチームは他の修理工場に設置されている ACM ローカル設備にもすぐに REV を導入することにしました。

「私は、ACM ローカル設備に初めてのハードディスクトラブルを経験するまでの 5 ヶ月間、システム構成の見直しをまったく考えていませんでした。」と彼は述べています。

運用は各修理工場自身の判断により行われていましたが、トラブルを経験した修理工場では REV ドライブを利用してシステムバックアップも独自に行っていました。我々も修復作業に立会いハードディスクを新品に交換し OS リカバリー用にバックアップされた REV ディスクを挿入しリカバリーが始まるのを息を凝らして見ていました。なんと数十分後にすべてのシステムとデータが完璧に復旧しました。このような厳しい試練にも REV ドライブは有効性を発揮しました。

REV ドライブは、AutoCheckMate の顧客である修理工場に ACM ローカル設備の標準品として初年度に REV ドライブ 1 台と REV メディア 4 枚が提供され、自動車修理工場の業務効率化のために利用されています。



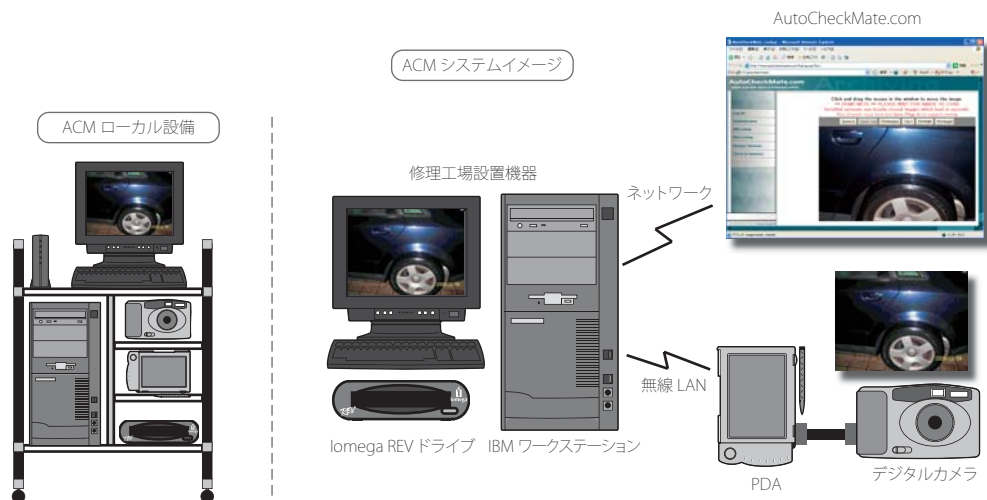
ある修理工場では、システム導入後 10 日間において画像データを提示することにより車両保険請求の審査に係る経費を 7,000 ドル相当のコストセーブができました。彼らはすぐに、容易に REV ドライブに保管している画像イメージにアクセスできましたし、システムは完全に予定通りに動作しました。



AutoCheckMate.com

共同経営者

Ken Esposito



アイオメガ株式会社

製品についてのお問合せ先

email: info-jp@iomega.com



www.iomega.com/jp